

# 明石のまちづくり

第1号  
2017年1月

AKASHI NO MACHIDUKURI

— 発行 —

明石市連合まちづくり協議会  
編集：広報部会  
連絡先：明石市市民協働推進室  
TEL (078) 918-5004

## 明石市連合まちづくり協議会設立!



平成 28 年 6 月、明石市連合自治協議会を引き継いで、明石市連合まちづくり協議会が設立されました。

### 市長あいさつ



明石市長  
泉 房穂

明石市連合まちづくり協議会の設立おめでとうございます。  
昨年4月に「明石市協働のまちづくり推進条例」が施行され、いよいよ本格的な市民主体のまちづくりがスタートしました。  
市といたしましても各小学校区まちづくり組織のみなさんと、膝を交えて話をしながら「住みたい・住み続けたいまち明石」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。  
市民のみなさんも是非「まち協」にご協力いただき、一緒にまちづくりに取り組んでまいります。

### 明石市連合まちづくり協議会とは?

現在、明石市ではすべての小学校区において、自治会、高年クラブ、PTA、子ども会、ボランティア団体等が連携した「校区まちづくり組織」が結成されており、特色あるまちづくりに取り組んでいます。校区連合自治会長の集まりだった明石市連合自治協議会も、校区まちづくり組織の代表者で構成する「明石市連合まちづくり協議会」に移行し、より幅広く連携と情報共有を進めていくこととなりました。



### 会長あいさつ



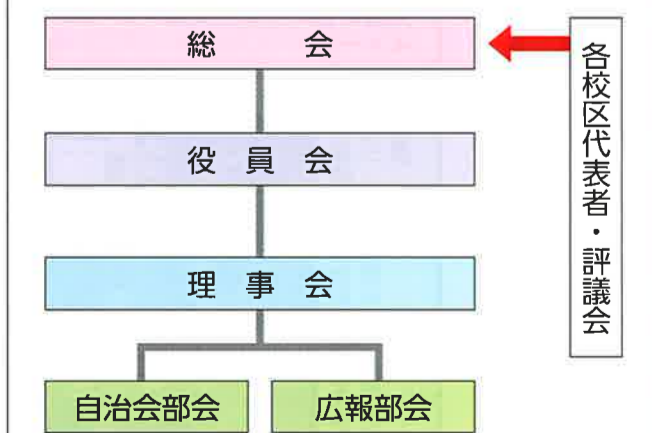
明石市連合まちづくり協議会  
会長 小川 奉文

平成28年度の明石市連合自治協議会総会において、同会を発展的に解散し「明石市連合まちづくり協議会」が設立されました。  
本会は地域社会の発展に寄与するとともに、地域の課題解決に向けて、概ね小学校区以上の区域で構成する「校区まちづくり協議会」相互の連携や情報共有、及び明石市との協働を図ることを目的としております。  
今後とも、新組織運営に対し、皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 平成28年度明石市連合まちづくり協議会役員

役職	氏名	所属団体名
会長	小川 奉文	林校区コミュニティ推進協議会
副会長	竹中 康訓	鳥羽まちづくり協議会
副会長	安藤 正博	大久保小学校区連合自治協議会
総務	戸田 和夫	明るい町づくり in 錦が丘
会計	藤本 庸文	王子まちづくり協議会
監事	伊藤 一	中崎まちづくりの会
監事	大西 功二	江井島コミュニティ推進協議会
顧問	橋本 浩司	清水まちづくり協議会

### 明石市連合まちづくり協議会 組織図



連合まちづくり協議会のスローガン

# まちづくり ゆめづくり

# 校区まちづくり組織 魚住校区の取り組み紹介

明石の各校区は、地域の魅力や課題を踏まえて、自分たちで地域の実情に合ったまちづくりを考え実行しています。連合まちづくり協議会広報では、各校区の取り組みを応援し、他の校区に参考としてもらうため、先進的な活動を紹介します。

## 人が集まる工夫

どこの校区でも、まちづくりに人を集め、参加者のすそ野を広げることは最大の課題です。まちづくりで一番大切な「人」あつめをどう工夫しているのか。魚住まちづくり協議会取材しました。



▲魚住まちづくり協議会 武久会長（右）と事務局長 川島さん（左） ▲事務局員 松澤さん

魚住まちづくり協議会では、地域住民が自分の意志で参加する「まちづくり応援隊」が活動を支えています。「誰もがふらっと訪れられる場を用意することが大切」と語るのは、魚住まちづくり協議会の事務局長、川島さん。「個人が自分の意志で参加することを重視しています。自治会長をあて職的に役員に配置せず、自分の興味のある部会に入ってもらうようにするなど、任期切れで自治会長を辞めても、まちづくり応援隊として残ってもらえる工夫が大切です。」

## 居場所づくりに力

魚住で今、力を入れて活動しているのが、校区の子どもの学習支援と居場所作りを目指す放課後教室「みんなでおべんきよう」。

「子どもであっても学校や家庭での生活で疲れやストレスを感じることもあります。そんな彼らが甘えられる居場所づくりは、地域の課題として重要です」と川島さん。

毎週水曜日、20数名の子どもたちが集まって勉強し時間を過ごしています。



## 学生と連携

この教室の特徴は、明石清水高校「人と環境類型」と明石高専と



▲コミセンの隣にある「喫茶くすのき」。毎週水曜日は子どもたちでいっぱい。



▲学生も一緒に運営ミーティング。この日は、子どもひとりひとりの様子を記録する連絡帳作成を提案。

連携し、学生が「先生」役を務めていること。運営ミーティングでは、学生の意見も取り入れながら運営方法を改善していきます。

「学校側にもメリットがあれば連携しやすい。学校も地域との連携が求められているなか、いかに協力相手を見つけられるか。学校に限らず、協働にはお互い無理を言い合えるような関係ができていくことが理想。個人的なつながりから連携が生まれることも。」

しかし、課題もあります。「毎週子どもと接していると、ひとりひとりの様子が見えてきます。一人で集中したい子や、みんなで騒ぎたい子たちを個別にフォローしていくには、どうしても人手とスペースが足りない。小学校と情報を共有したいと思っても、学校側は個人情報に関して慎重にならざるを得ません。」

これから事業を始めた校区に何かアドバイスはあるでしょうか。

## 自治会部会からの報告

### ◆自治会・町内会新会長研修会

自治会部会では、毎年開催している自治会・町内会の新会長を対象とした研修会をより充実したものにすため、平成29年度の開催分より内容を見直します。(左イメージ図)



第4回自治会部会で自治会・町内会新会長研修会の新体制について議論する部会員

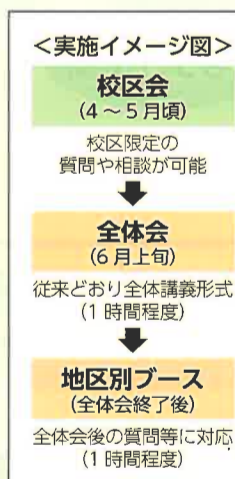
また、従来の全体会（全体講義形式）終了後に、地区別のブースを設けて相談を受けるようにします。

### ◆自治会未加入対策

平成28年12月2日に開催された、兵庫県宅建物取引業協会明石支部の研修会にて、自治会加入の呼びかけを行いました。これは、平成25年に連合まち協・宅建協会・明石市の三者で締結した自治会加入促進に関する協定に基づいたもので、引き続き連携を図りながら、新たな取り組みも含めた対策の検討を進めていきたいと考えています。



兵庫県宅建物取引業協会研修会の様子(上) 同研修会にて、説明を行う竹中部会長(下)



見直し後の研修会実施イメージ

## 編集後記

「明石市連合まちづくり協議会」の発行から数か月を経て、ようやく広報紙を発行することができました。何分にも創刊号ということで、誰に何を伝えたいのかから始まり、紙面のサイズや名称、ロゴを含め、あれもこれもと模索しながらの広報紙づくりでした。まずはオンラインドックスな紙面からのスタートとなりましたが、これからは連合まち協の動向や各地域のまちづくりに役立つ情報をお伝えしていきます。今後の紙面にご期待ください。(広報部会)